

DiscovereRe-FUKUI(ディスカバリーフクイ)の名前の由来

Discover=発見する、Renovation=リノベーション、Re=再び・再生、この3つの意味が含まれている。
福井のまち、地域の良さ、魅力を発見し、リノベーションによってまちを再生する思いを込めて、
DiscovereRe-FUKUIとした。

パネラー

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准 教授 中島 直人
一般社団法人アーバニスト 理事

株式会社三菱総合研究所 主席研究員 松田 智生
丸の内プラチナ大学 副学長

エコツツエリア協会 SDGsビジネス・プロデューサー 田口 真司
丸の内プラチナ大学 副学長

株式会社ピンタイ 高岡 勇治
石田 竜一

フリーランス 山田 夏子

モデレーター

有限会社E.N.N. 代表 小津 誠一
DRFマスター

編集・デザイン

株式会社舎家 牛久保 星子
松倉 健太郎

発行日 2022年3月
発行元 福井市・まちづくり福井株式会社



求む！ FUKUIのまちを変えるローカル・アーバニスト



Think about our future of renovation

リノベーション
未来ノート
Vol.4

DiscovereRe-FUKUI

FUKUI逆参勤交代ナイト@丸の内

Day : 2022.2.17

モデレーター — バネラー —
小津 誠 — [東京] 中島 直人 / 松田 智生 / 田口 真司 [福井] 高岡 勇治 / 石田 竜一 / 山田 夏子

2022年2月17日、オンライントークセッション「FUKUI逆参勤交代ナイト@丸の内」を開催しました。このトークセッションは、「DiscoverRe-FUKUI (ディスカバーー福井)」(以下DRF)の2021年度の取り組みとして、東京のビジネスパーソンで地域の課題解決を図る「丸の内プラチナ大学」とタッグを組んで行いました。第1部では地方都市を活性化させていく「丸の内プラチナ大学」及び「逆参勤交代」の紹介と、「アーバニスト 魅力ある都市の創生者たち」の著者・中島直人さんによるレクチャー。そして第2部では福井のローカル・アーバニストを交えたトークセッションを行いました。

地方都市「福井」に魅力を感じ、福井での活動に興味を持つ都市人材と、福井で活動する人材が交流し、これからの福井市中心市街地の魅力再発見、課題解決へとつなげるローカル・アーバニストを探す試みの第一歩を踏み出しました。

アーバニストとは？

そして地方都市のローカル・アーバニストへ期待することとは？

中島 直人 | 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准 教授
一般社団法人アーバニスト 理事
主な著書 | アーバニストー魅力ある都市の創生者たち[ちくま新書]

「アーバニスト」を日本語の辞書で引くと、2つの意味が出てきます。ひとつは都市計画の専門家。そしてもうひとつは都市に住み、都会の生活を楽んでいる人という意味です。私はこの2つが重なり合う領域で活動する人、あるいはこの2つの領域で移ろいながら活動する人がアーバニストではないかと考えています。

アーバニストは様々な背景を持つ人たちです。都市空間を「つくる」側にいた人が実践的活動によって都市を変えるアーバニストになる人。都市とは関係のないビジネスをしていた人たちが地域の中にどんどん入っていくような展開。クリエイターたちがその地域で実際に生活しながら、地域の方々とアートを生み出していくなど、多種多様です。地方は距離感が都市と違います。ローカル・アーバニストへ期待することを2つの視点でまとめました。

ローカル・アーバニストへの期待

| | |
|------------|---|
| 近さ | 「生活する」と「計画(創造する)」の近さ 「都市」と「田園」の近さ 「ひと」と「ひと」の近さ |
| 眼差し | トランスローカルの眼差し 外からでも内からでもない眼差し 土一旅一風それぞれ、個性と均質のはざまへの眼差し |

そして最後に大事なことはアーバニストがまた次のアーバニストを生み出していくということです。「都市が人を生み、人が都市を生む」。その都市で育ち、体験した人が、その原体験を持って次のアーバニストになるという循環です。

逆参勤交代とは？

「逆参勤交代が創る福井の未来」

松田 智生 | 株式会社三菱総合研究所 主席研究員
丸の内プラチナ大学 副学長
主な著書 | 明るい逆参勤交代が日本を変える[事業構想大学院大学出版社]

「逆参勤交代」は2017年から提唱してきた考え方で、都市部移住者の地方での期間限定型滞在のことです。人口減少の日本で人材は争奪するのではなく共有します。江戸の参勤交代では、江戸のまちに関係人口が増え、藩邸が整備されました。これを現代に置き換えたのが「逆参勤交代」です。地方に関係人口を増やし、オフィスや住まいの需要が起きる制度です。関係人口が増えると、生活者が生まれ消費が増えます。大手町、丸の内、有楽町の就労人口というマスボリュームが動けば大きなインパクトとなり、経済効果は十分に見込まれます。

2018年から現在まで、全国9か所で逆参勤交代の実証実験をすすめています。やって分かったことは、個人も企業も地域も三方よしの関係性です。逆参勤交代は目的、世代、期間に応じて多様なモデルがあげられます。人材育成や研修として、団塊の世代の活性化や、育児や介護での離職をとどめることなども考えられます。「あなた主語」は持続性がない。「私」が福井にどう関われるか、「私」の会社や専門性をもって何ができるかという「私主語」を徹底することが大事です。

福井駅前のローカル・アーバニストたち

第2部、福井駅前をフィールドに現在活動するローカル・アーバニストの方たちとのトークセッションが行われました。

高岡 勇治 / 石田 竜一 | 株式会社ピンタイ
デザイン設計と建材輸入販売を行う高岡さんと、古いビルのリノベサブリース等を行う石田さん。設計と不動産のスペシャリストである2人がタッグを組んで、主に福井市中心市街地の古いビルの再生事業を行う会社として、現在3棟のビルの再生・運営を行っています。高岡さんは福井・東京・上海の3拠点、石田さんは東京・福井・沖縄の3拠点を持ちながら活躍中です！

山田 夏子 | フリーランス

ボストン生まれ。コモロ島(アフリカ)での地域活性化関係の仕事を終え、2020年に福井へ移住した山田さん。福井では、エチオピアの国連インターンや英語講師を務めながら、現在、駅前映画の撮影や、英語での交流イベントなどを企画実施。福井駅近くに居を構え、「見ていない福井を映す」という視点で活動の幅を拡げています！

トークセッション / イントロダクション

福井駅前では2024年の新幹線開業に向けて一気に再開発事業が行われています。一方で古い建物を活用しながら個性的なプレイヤーがまちを動かしており、それが福井のまちなかの魅力になっています。ただプレイヤーの顔ぶれが固定化しはじめている中で、今まで以上に魅力的なまちにしていくためには、新たな都市人材やまだ出会っていない潜在的なプレイヤーとの化学反応が必要です。

それぞれの立場から

地方(福井)に対する想いや課題について

登壇者のみなさんから飛び交った言葉を一部抜粋しました。

中島 | すごく刺激的でした。福井のアーバニストのお三方は自分たちで自分たちの望むべきまちの姿を生み出していて、勉強になりました。

地方都市の人のつながりがって良い面も悪い面もあると思うんですけど、それを自然体で受け入れて自分のやりたいことをやっているんだなど。それが印象的でした。これから次世代のまちへの接点を生み出す機会をどうつくるかという課題も考えていきたいですね。

松田 | 今まで積極的にまちに関わりを持たなかった人たちがこれからはキーマンになると思います。友達に誘われて、上司に言われてという受動的参加者に限って化ける可能性が高い。この受動的参加者の後押しするのが逆参勤交代という制度です。程よい強制力がよいのではと思っています。まずはjust do itで!

田口 真司 | エコツヴェリア協会 SDGsビジネス・プロデューサー
丸の内プラチナ大学 副学長

田口 | どのように楽しめるかという視点を持ち続けることが大事だと思います。まちづくりも仕事も人生も楽しむということの大切さを忘れずに。今回もっと福井のことを知りたいなと思いました。来年度、参加者には、自分ごととしてアイディアを考えて実践していただきたいと思います。

石田 | 福井でやってみてすごく思うのは、濃い人間関係の中に入り込んでいく必要があるということです。小さいまちの場合だと、そもそも秘密が成立しないです。高校の時まではすごく息苦しかったんですが、困っても誰かが助けてくれるんです。工具持ってきてくれたり、野菜持ってきてくれたり、すごい人やメディアとも直接話せます。そのくらいの距離感が今はよいと思っています。

高岡 | 独立した時に、ひとつのビルの絵を描きました。年代も、肌の色の違う人たちも違和感なく過ごしているようなイメージで、飲食店だったりホテルだったり暮らす場所だったり混在するビルをつくりたいなど。

今、仕事と遊びと楽しいことが一緒にすごく起き始めている感じがしますね。あと海も山も寺もすぐ行ける距離がぎゅっとしているのはすごくいいなと思っています。

山田 | 福井で感じたのは動きやすい、人に会いやすいということです。1人を知ったら色々な人とつながることができました。福井は「やってみる」ことのできる場所です。アフリカのコモロ島にいたときは現地に合わせてということを考えすぎて動きにくかった自分がありました。福井は助けてくれる方もいますし、自分のスキルを試してみる場所としてすごくいいですよ。

2022年度DRF、動き出します！

丸の内プラチナ大学と協働で逆参勤交代コースを実施します。福井に関わりのあった方も、これから関わりを持ちたいと思った方もまずここからスタートしてみませんか?詳しくはこれから情報をUPしていきます。お楽しみに!

トークセッションの動画及びDRFの活動についてはこちらから

